



いわて災害看護研修会

責任者：馬林 幸枝 共同者：蘇武 彩加, 尾無 徹, 藤澤 望

令和6年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

●活動の概要

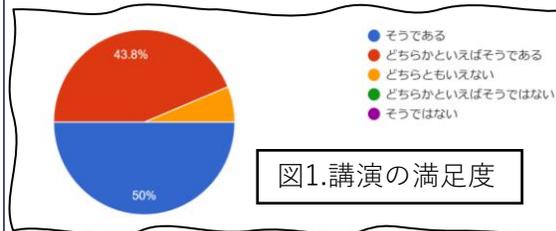
令和5年度に岩手県内外の病院・施設等の看護職を対象に、災害看護研修に関するニーズ調査を行った。この調査結果を基に、**現場の看護職の求める研修会を計画的に継続・実施**していくこととしている。このことにより、災害看護や災害医療などの関心の高まりを受け、啓発活動になるだけでなく、災害発生時の防災活動・支援活動において、看護職が役割を發揮していく一助となることが期待できる。

令和6年度は「**災害医療看護活動の基本**」について、**HUGゲームの演習も交えた研修会を開催した。**

●活動の成果

参加者は病院や老人福祉施設、訪問看護ステーション等に所属する看護師47名であった。研修後のアンケートでは**講演・演習内容に「満足できる」との回答が9割で一定の成果がみられた**（図参照）。

●アンケート結果の概要/研修会の様子



《参加者の声》

- ・判断に悩んだが、実際の場面では1つ1つの判断が後に障害や問題になることもある。経験と知識、根拠を持って判断できる能力を身につけたい。
- ・大変勉強になった。
- ・楽しく演習できた。



《参加者の声》

- ・興味・関心はあっても実際に触れる機会がなかった災害看護を基礎から学ぶことができるとても勉強になった。今後も災害看護の知識を深めたいと思った。

